

# 鳥取県青少年育成アドバイザー協議会通信

鳥取県青少年育成アドバイザー通信 74号

鳥取県青少年育成アドバイザー協議会

発行日 2017. 8. 4

編集 芳村恵子

## サンセットウォーク

西浦 公子

岩美町青少年育成協議会の毎年の恒例行事「サンセットウォーク」が7月15日土曜日にありました。

いつもは大谷海岸から浦富までの7kmを歩くのですが、今年は今話題の豪華寝台列車『瑞風』が停車することになった東浜駅を出発することになりました。

無人駅だった（今も）東浜駅は、近代的な駅に生まれ変わっていました。天井が鏡になっていて…「ここはどこ？」的な駅に変身しています。そして、中央公民館は今年建て直す工事に入りますので、最後のお勤め(?)でした。

出発駅の変更により5kmに短くなったので途中休憩はなく、歩きながら瑞風に出会えるかなと話をしながら、街灯のない山道を歩きました。



中央公民館に到着すると、婦人会によるお汁とおにぎり、田後海岸少年団による焼きそば・フランクフルト・フライドポテト・フルーツあんみつなどのおもてなしを受けました。以前、ナイトウォークの参加募集をする時、なかなか青少年が集まらず…でしたが、夕食替わりの「おもてなし」を計画してからは、200人越えとなる盛況ぶりです。

最後はエントリーシートの番号によるくじ引き大会がありました。大人に小さな花火が当たったり、子どもに大きな花火セットが当たったりと、みんな一喜一憂しながら楽しみました。



次回の岩美町青少年育成協議会の行事は、8月1・2日のアドベンチャーキャンプです。対象は、小学4年生から中学生までの子ども達です。「小田いこいの里」にて、竹の食器作り・ドラム缶風呂やキャンプファイヤーなどがあり、次の日は、『小田川に魚を蘇らせる会』との共催による「ヤマメのつかみ取り」などが予定されています。子ども達がヤマメを捕まえて、その場で焼いて食べるようです。

青少年育成に関わっていることで、私自身も楽しめることがあることを幸せに思っています。

実はただ今、冷房にやられて夏風邪中です。鬼のかく乱?健康には最善の注意を払っていたつもりでしたが、油断しました。

皆さまどうぞお身体を、ご自愛ください。

感謝

## 農業と子育てについて

新川 裕二

夏に入り、全国各地で、大雨による災害が起きています。亡くなられた方、そのご家族の皆さんご冥福をお祈りいたします。また、被災された皆さんにも、早い復興を願っています。

次ページに続く

さて、7月も後半になり、私たちのまちでは、田んぼの中干を終え、稲への穂肥の時期を迎えています。

退職後15年のゴールデンタイムに本物の「百姓」を目指して、スタートしたところです。(なかなかうまくいきませんが・・・)

今までは、「土日百姓」(仕事休みの土日を使って農作業をすること)をしていました。

稲作については、肥料は1発施肥の方法で行っていて、生育途中での肥料は、したことがなかったのです。今回は、一般的な施肥の方法で始めました。

7月から8月にかけて、元入れた肥料がなくなり、追加で肥料をやる時期になります。その肥料を「穂肥」と言います。

この時期に、イネは、「幼穂(ようすい)」といわれる、穂のもとになるものができ始めています。

人間で言えば、赤ちゃんができたところ。この穂肥は、籾の数を増やしたり、豊かに実りを迎えるための肥料です。



人間も、赤ちゃんがお母さんの体に宿ったら、成長に合わせ、お母さんは栄養をとっていきますね。生まれた後も、子どもの発達段階に合わせ、適切に支援をしていくことが大切になってきます。

反対に、いつも守るだけでなく「中干(なかぼし)」と言って、1週間くらい田んぼに水を入れず、ひび割れができるくらいにします。イネにとって飢餓状態を作るのですね。大きくなって、台風や大風がきたとき、しっかりと根を張っておかなければ、倒れてしまいます。大人になったとき、生きる大切な土台を作ってやること。人間でも大切ですね。イネ

が育つ・人が育つために、やさしさと厳しさが(温かい支援と厳しい支援)必要です。

農業をしながら、農業が子育てや青少年育成とつながるところがあることに気づいてきました。まだまだ修行の身です。

(\*「百姓」⇒古くは、諸々の姓(かばね)を持つ人・公民をさす。⇒農業をする人)

## うそ

谷川 俊太郎

ぼくはきつとうそをつくだろう  
おかあさんはうそをつくなというけど  
おかあさんもうそをついたことがあって  
うそはくるしいと知っているから  
そういうんだとおもう  
知っていることはうそでも  
うそをつくきもちほんとうなんだ  
うそでしかいえないほんとのことがある  
いぬだってもしくちがきけたら  
うそをつくんじゃないかしら  
うそをついてもうそがばれても  
ぼくはあやまらない  
あやまってすむよううそはつかない  
だれもしらなくてもじぶんは知っているから  
ぼくはうそといっしょに生きていく  
どうしてもうそがつけなくなるまで  
いつもほんとはあこがれながら  
ぼくはなんどもなんどもうそをつくだろう

谷川俊太郎詩集 「はだか」より

## 編集後記

暑中お見舞い申し上げます。

一昨年頂いた神戸のひまわりの種を春に植えてみました。何ということでしょう。私の背の高さより大きくなり、立派な花を付けました。あの小さな種のどこにこんなパワーがあったかと、驚きです。既に花は枯れましたが、一番大きな一本だけ種を取るために残しています。実りを楽しみにしています。

次回通信発行は11~12月です。宜しく願いいたします。